

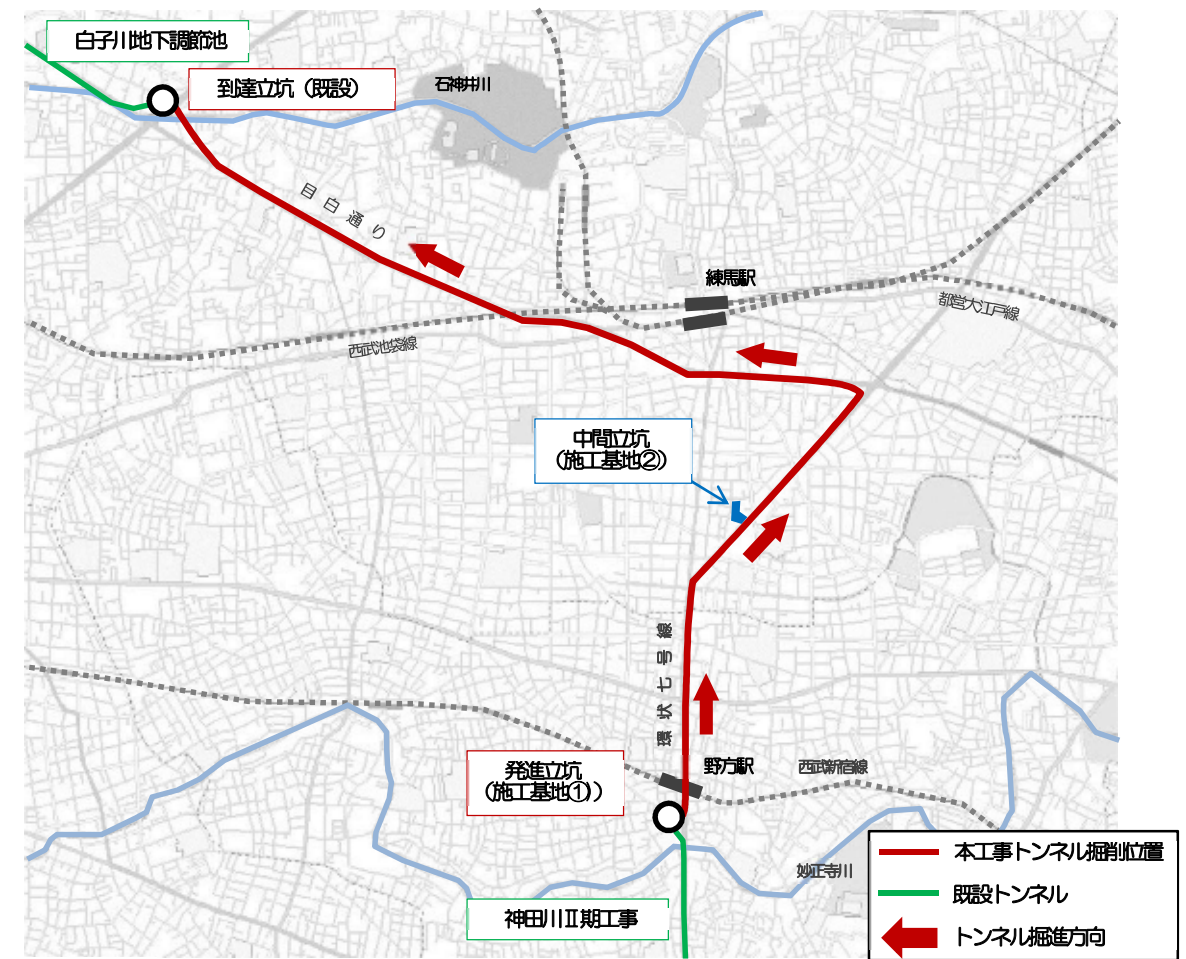
# 環状七号線地下広域調節池(石神井川区間)工事概要

## 工事概要

件名：環状七号線地下広域調節池(石神井川区間)工事  
 工期：平成29年3月9日～平成35年3月14日  
 受注者：大成・鹿島・大林・京急建設共同企業体  
 概要：シールドトンネル（内径12.5m、延長約5.4km）、中間立坑（面積189㎡、深さ52.4m）  
 連絡管（内径4.35m、延長12.1m）

## 工程

工種	平成29年			平成30年			平成31年			平成32年			平成33年			平成34年			平成35年																	
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
シールドトンネル	準備 (シールド機製作など)						シールド機 組立工			掘削 準備工			トンネル掘削 (施工基地：中野区野方五丁目)						トンネル掘削 (施工基地：練馬区豊玉中三丁目)			片付け														
中間立坑 (練馬区豊玉中三丁目)	準備		立坑構築						片付け																											
連絡管 (練馬区豊玉中三丁目)							準備			地盤改良						連絡管																				

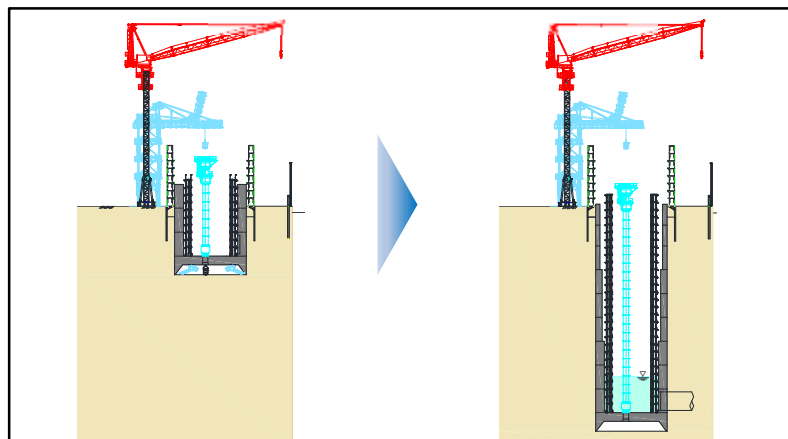


## 中間立坑・連絡管

### ■工事の内容

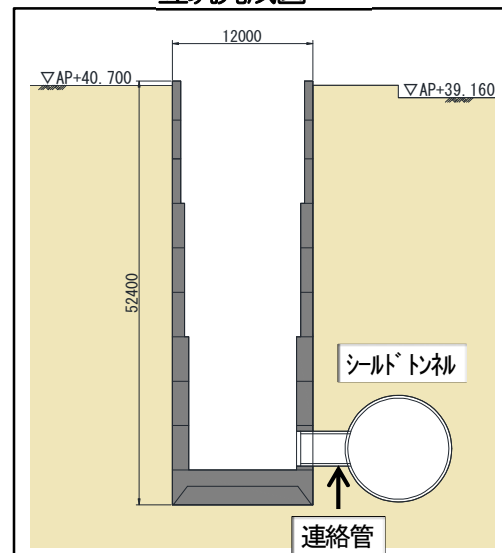
- 中間立坑は、掘削による周辺地盤への影響を最小限に抑えることが出来るケーソン工法を採用します。この工法では、地上で立坑躯体の一部を造った後、躯体下部を掘削して、ゆっくりと地中に沈める作業をくり返し行い、地中深くまで躯体を構築していきます。
- 中間立坑とシールドトンネルの間に推進工法（トンネルの掘削に合わせてトンネルの壁となる鋼管を押し込む工法）によって連絡管を造ります。
- 工事にあたっては中間立坑基地内に防音壁を建てて、作業に伴う騒音を低減します。

立坑工事手順(イメージ)



※ 現場作業時間は、原則 8:00～17:00 とします。  
 ※ 原則として日曜日は作業を行いません。但し、工程遅延が生じた場合は、作業することがあります。

立坑完成図



## シールドトンネル

(施工基地①：中野区野方五丁目地内)  
 (施工基地②：練馬区豊玉中三丁目地内)

### ■工事の内容

- 発進立坑(既設)からシールド機を発進し、環状七号線、目白通りの地下約36mの深さにトンネルを掘ります。
- トンネルの内面は、鋼材とコンクリートでしっかりと覆います。
- 発進立坑のあるシールド工事施工基地には防音壁を建てて、作業に伴う騒音を低減します。

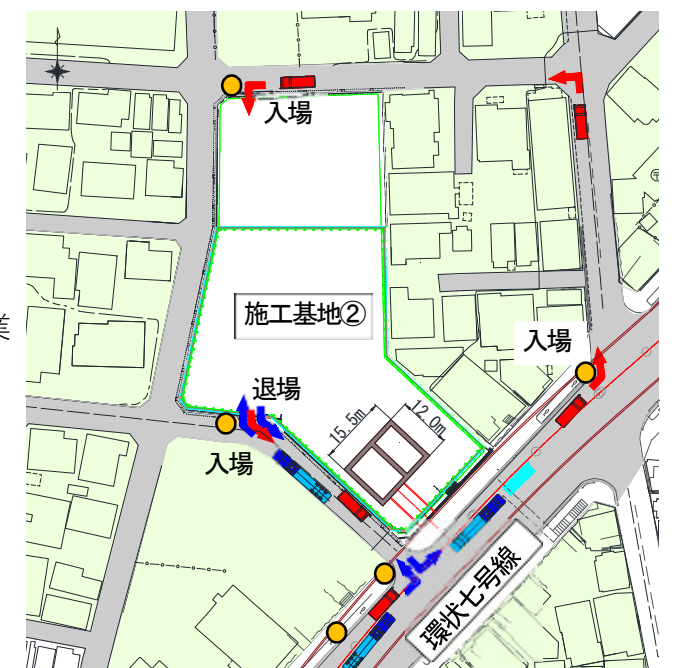
シールド機 (イメージ)



トンネル内 (イメージ)



※ 現場作業時間は、原則 8:00～17:00、20:00～5:00 の2交代制とします。(土砂搬出車両の入退場は、原則 9:00～17:00 とします。)  
 ※ 原則として日曜日は作業を行いません。



	立坑構築時		交通誘導員
	トンネル掘削時		ダンプトラック
			大型車両